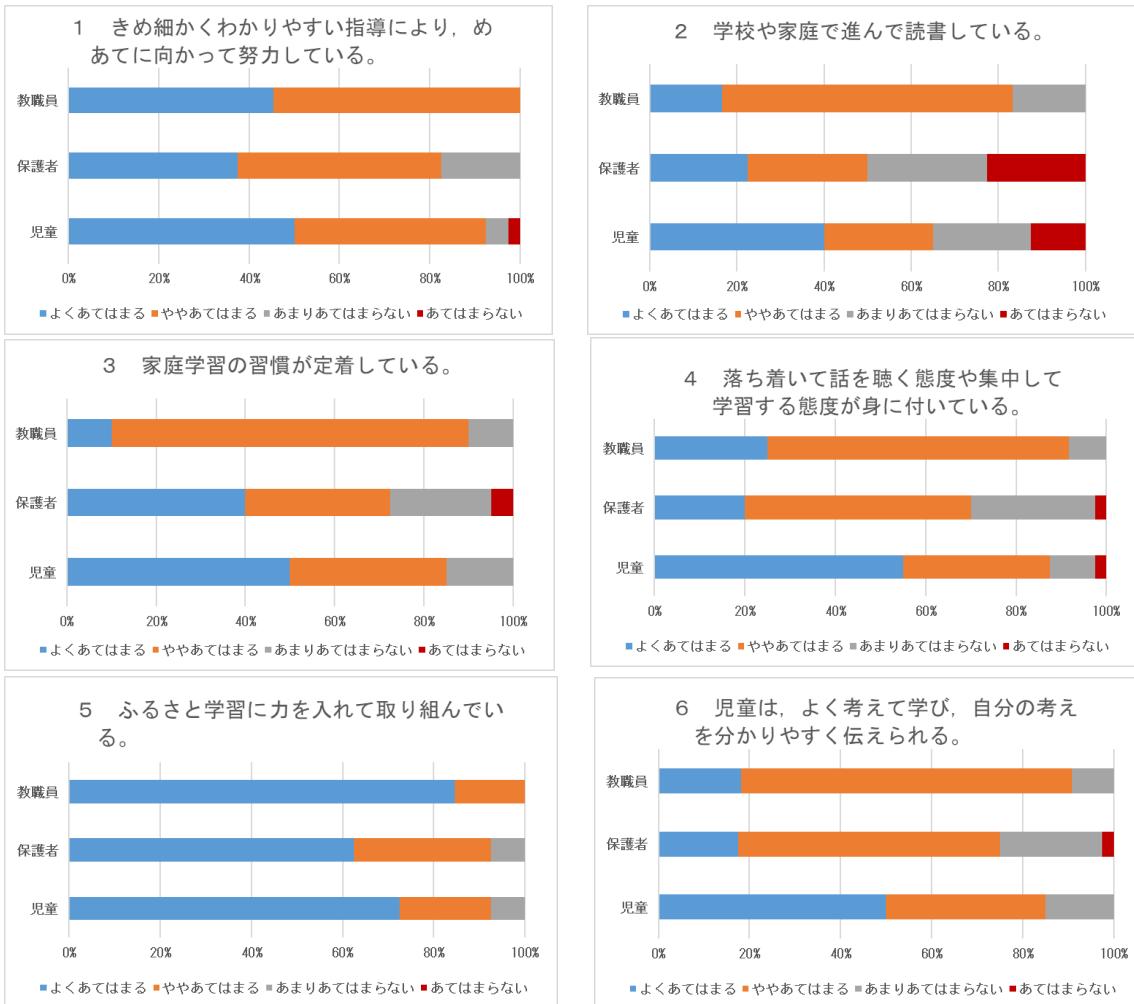


# 令和6年度 学校評価の結果について

栃木市立真名子小学校

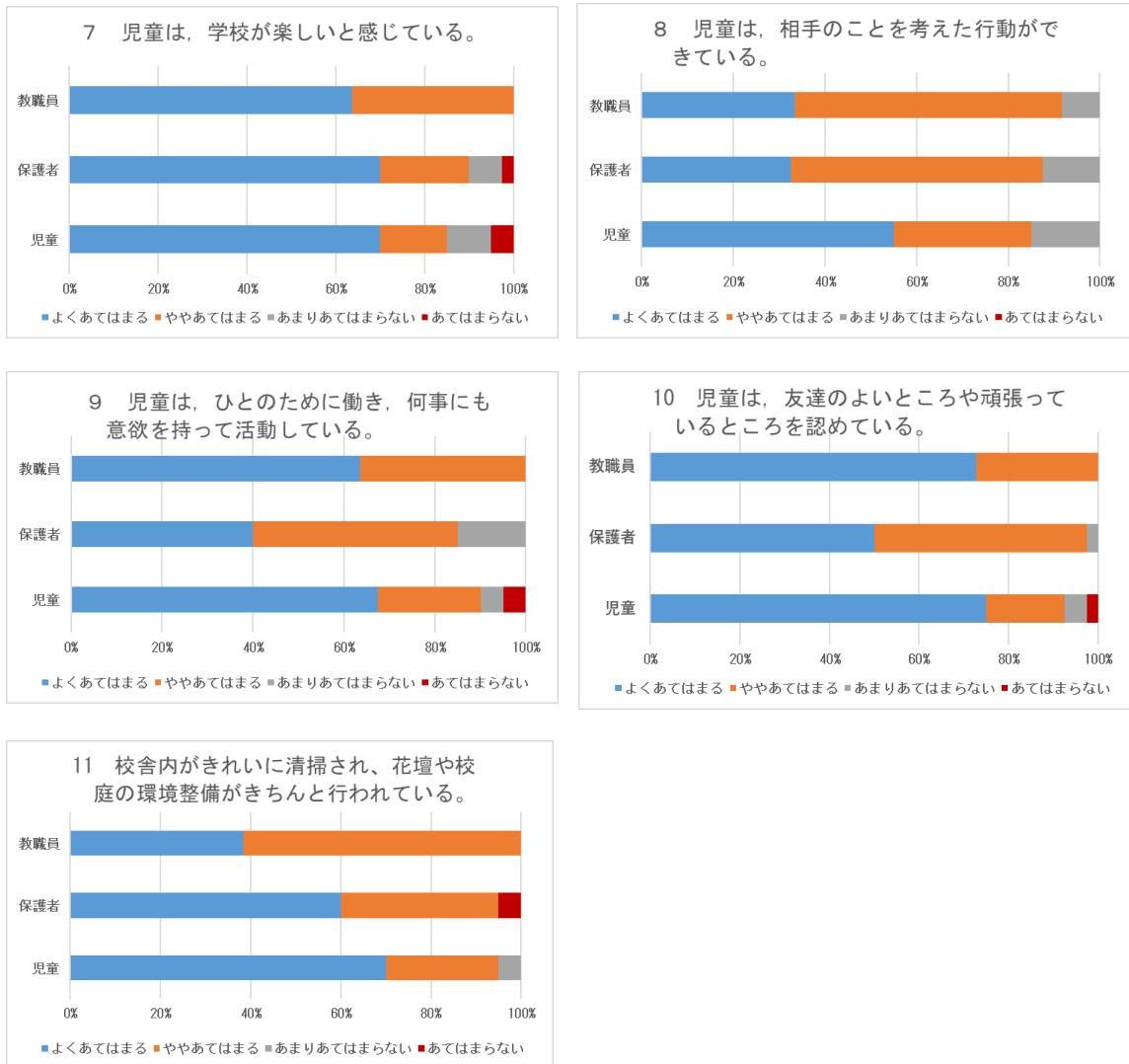
## I 「目標をもち自分を高める子」を目指した取組



### 【結果及び考察】

- ・「めあてに向かって努力している」では、三者とも9割程度の肯定的な回答が見られる。しかし、1割の児童が努力できていないので、自分のめあてをしっかりと立てるとともに、努力できるよう支援していかなければならない。
- ・読書では、児童が約4割、保護者が約5割の否定的な回答である。SNS等の利用と関連させ、対策を検討したい。
- ・家庭学習の習慣が定着している児童が多い。家庭と連携したり、取り組みを称賛したりするなどして、意欲を高めていきたい。
- ・話を聞く態度や学習する態度は概ね良好である。本校の学校課題である「考えてくれる」授業づくりに引き続き取り組んでいきたい。
- ・地域の方々や保護者の協力のもとふるさと学習を推進してきたが、成果が表れている。
- ・根拠をもとに自分の意見を伝えることが苦手な児童が多い。学び合う力を高め、自信をもって発表できる児童を増やしたい。

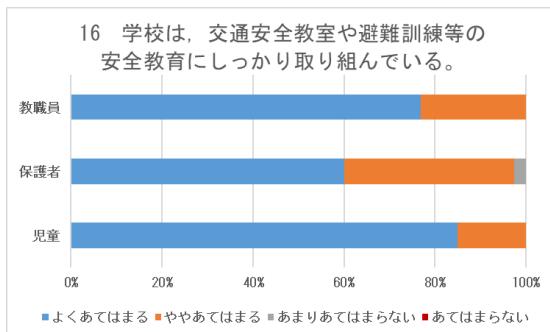
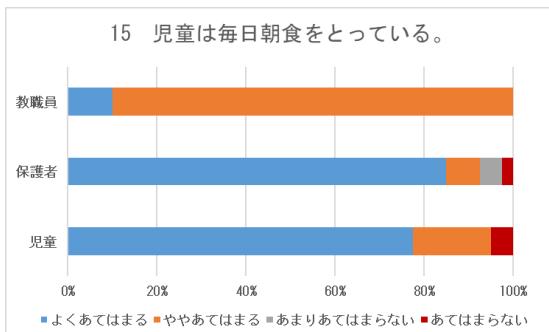
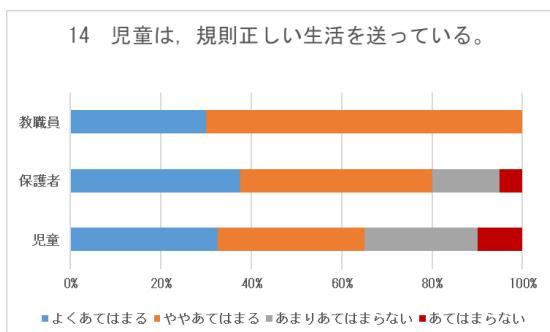
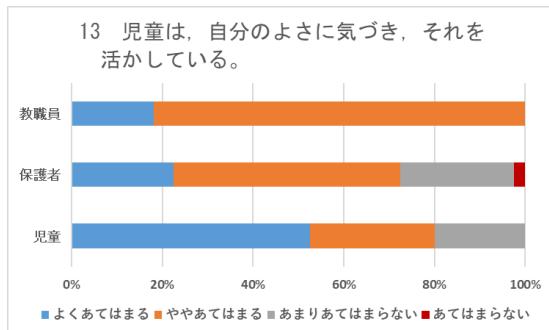
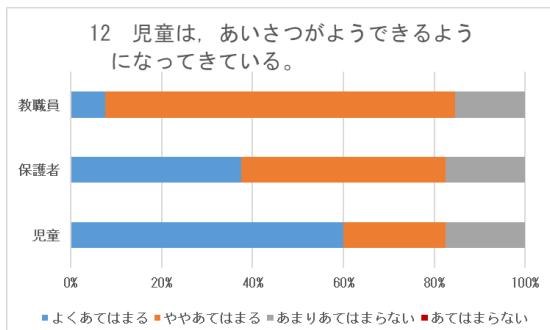
## 2 「人の気持ちがわかる子」を目指した取組



### 【結果及び考察】

- 多くの児童が学校生活は楽しいと感じているが、一部楽しくないと感じている児童がいる。教育相談等を利用し、その原因を取り除けるように支援したい。
- 「人の気持ちがわかり、正しい判断ができる子」を目指す児童像に掲げ教育を開してきた。その結果、三者とも肯定的な回答が8割を超えており、学校全体で力を入れてきたことの成果が表れています。
- 清掃や奉仕活動にしっかり取り組む姿が見られる。
- 友達のことを認めている児童が9割を超えています。そのため、友人間のトラブルは少ない。一部否定的な回答が見られるが、人権教育をさらに推進し、認め合える関係を築いていくよう支援したい。
- 花壇の水やり当番を決め、学年ごとに責任をもって管理している。

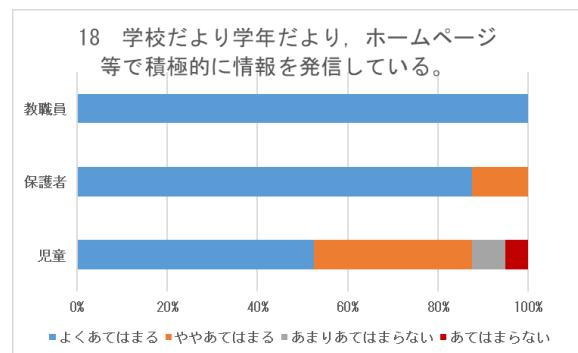
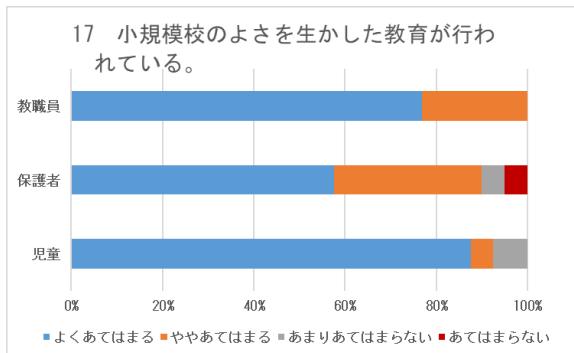
### 3 「心身ともに健康である子」を目指した取組



#### 【結果及び考察】

- ・あいさつでは、肯定的な回答が三者とも8割を超え、学校の取組の成果が表れた。しかし、「よくあてはまる」は昨年度より低下しているので、改善を図りたい。
- ・8割ほどの児童は自分のよさに気づき活かせていると感じている。今後もいろいろな観点から自分のよさに気づける機会をつくっていきたい。
- ・規則正しい生活では、児童の4割、保護者の2割が否定的な回答である。生活習慣を見直す機会をつくり、児童自らが規則正しい生活を心がけるように支援したい。
- ・ほとんどの児童が朝食は取っている。しかし、その内容については児童により差が見られる。食に関する指導を継続するとともに、家庭への協力をお願いしていく。
- ・すべての児童が安全に気を付けて生活している。今後も様々な機会をとおし、「自分の命は自分で守る」という安全意識を高め、状況判断力と実践力を身に付けさせたい。

## 4 その他の取組



### 【結果及び考察】

- ・小規模校のよさは、一人ひとりに寄り添った支援ができる、多くの児童に活躍の機会がある、異学年との交流を盛んに行える、全職員が全児童を把握できることなどがあげられる。今後も本校ならではの教育を充実させたい。
- ・学校からの情報提供については、保護者の方から良い評価をいただいた。今後も継続して児童の活動の様子をお知らせしていきたい。